

## 重点施策事業の実施状況

「生活・介護支援サポーター養成事業」

「災害時要援護者対策」

「福祉コミュニティ構築推進支援事業」

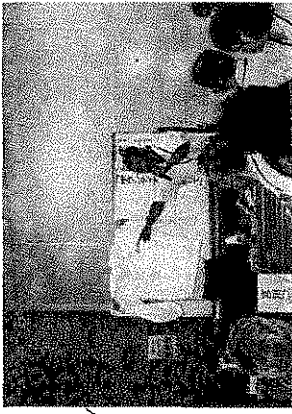




車いすや白杖等を使用し、福祉体験をしました。目が見えないと一歩踏み出すにも勇気がいること、車いすにのると普段はなんともない段差が思わぬ障がいになるといったことがわかりました。



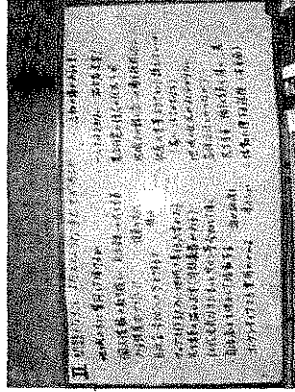
サポーター研修修了者である三輪南支部の宮川さんよりお話を聞きました。支部での取り組みは大変興味深く、みなさんよい刺激を受けられました。



5日目		6日目		7日目(7・8月中)		8日目	
10:30~12:00	13:00~14:30	14:30~15:30	9:50~11:50	2時間程度	9:30~10:00	10:00~11:30	11:30~11:45
支え合いマップづくり 講師 市社協職員	福祉体験と介助の基本 講師 市社協職員・福祉体験サポーター	消費生活トラブルの対処 講師 市消費生活センター職員・くらしの会	万が一に備えた応急手当 講師 荒引 真由美氏	ふれあい・いきいきサロン	ボランティア活動を通して 講師 宮川 洋則氏	今後の活動に向けて (グループワーク)	開講式



模擬マップを使って、見守りが必要な人を考えていきました。また、研修のまとめとして、グループでどのようなことができるのか、意見を合せていただきました。地域に応じたそれぞれの意見が聞かれました。



無事50名の方が研修を終え、閉講式では1人1人修了証書を受取りました。さあ！ここからがスタートです！！地域や社協、いろいろな人を巻き込んで意欲的に活動していきましょう！！



### 受講対象

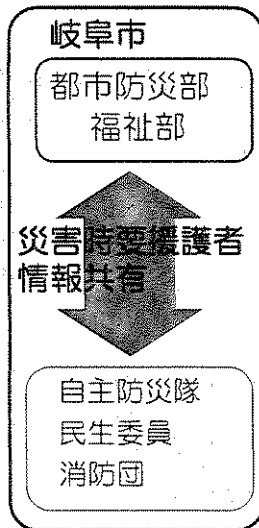
今回は、50支部に依頼し、支部長さんより推薦をいただいた51名の方が参加されました。地域福祉活動に意欲のある方々を中心に集まりました。

☆研修修了者 21支部50名 みなさんお疲れさまでした。

## 災害時要援護者支援対策

- 平成19年度 災害時要援護者名簿の作成
- 平成20年度 支援行動指針の策定
- 平成21年度以降 地域ごとの災害時要援護者支援体制づくり

- 対象者
- 要介護度3以上
  - 65歳以上のひとり暮らし
  - 65歳以上の高齢者世帯
  - 寝たきり高齢者
  - 認知症高齢者
  - 身体障害者手帳1・2級
  - 療育手帳A・A1・A2



支援行動指針の策定



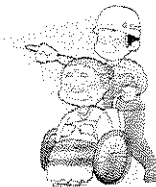
地域支援体制づくり

災害時要援護者名簿への記載同意者  
12,170名（平成23年10月1日現在）

平成19年度

平成20年度

平成21年度以降



## 地域ごとの災害時要援護者支援体制づくり

- ① 行動マニュアルが策定された地区  
・・・京町、市橋、芥見南、芥見東、本荘
- ② 協議会が設立された地区  
・・・日置江
- ③ 関係者の研究会が立ち上がっている地区  
・・・島、柳津

※平成23年度に本荘地区で災害時要援護者避難訓練を実施

## 平成23年度福祉コミュニティ構築推進支援事業 実施状況

社会福祉協議会支部及び支部と連携して取り組まれる地域福祉活動のうち、先駆的かつ他地域のモデル的な活動となるものに対して、県及び市社会福祉協議会と協調して補助する。(上限額100万円)

### 補助実績

年 度	補助団体
平成22年度	鷺山支部、本荘支部、島支部
平成23年度	木田支部、三輪南支部

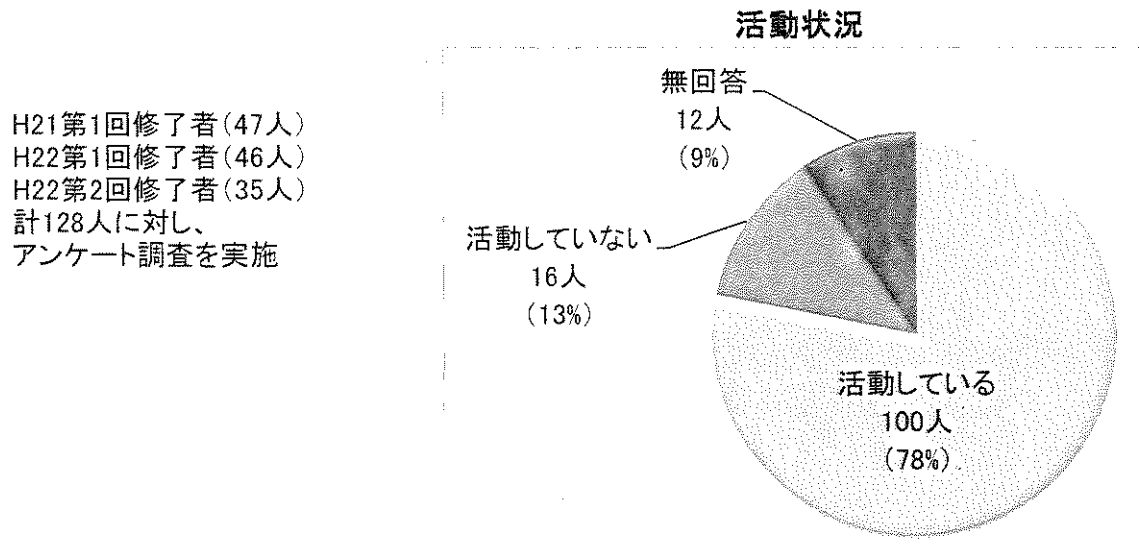
### 岐阜市社会福祉協議会木田支部

取 組	活 動 内 容
見守りネットワーク活動の構築	<b>新規</b> 福祉委員、社協委員に加え、アドバイザー（福祉委員・社協委員の任期終了者）を創設。
支え合いマップづくり	<b>新規</b> 柿ヶ瀬地区の3自治会でマップづくりを実施。
お助けマーク活動	拡充 牛乳ビンを活用した「お助けマーク活動（個人情報のご自己管理）」をさらに推進。
ふれあい・いきいきサロンの増設	拡充 西木田、木田、柿ヶ瀬の各公民館で実施。木田小学校の子どもたちと高齢者が一緒に楽しめる子どもサロンを新設。
福祉委員、社協委員、アドバイザーの活動充実	拡充 研修会を開催。意識啓発を兼ね、活動の際に着用するユニホームを作成。
主な補助対象経費	ワイヤレスアンプ・マイク、スクリーン、ノートパソコン、プリンタ、デジタルカメラ、サロン用品（スカットボール、ニチレクボール、釣りっこ、輪投げ 等）、消耗品、ユニホーム（70）

### 岐阜市社会福祉協議会三輪南支部

取 組	活 動 内 容
見守りネットワーク活動の構築	<b>新規</b> 太郎丸地区で、自治会長・民生委員・福祉委員による「見守りネットワークづくり検討会」を開催。
日常緊急時、災害時での要支援者福祉マップづくり	<b>新規</b> 太郎丸地区の13自治会でマップづくりを実施。
ふれあい・いきいきサロンの増設	拡充 太郎丸地区で新たにサロンを立ち上げ、14か所⇒15か所へ増設。
お助けマーク活動	<b>新規</b> ペットボトルを活用した「お助けマーク活動（個人情報のご自己管理）」を実施。
福祉委員の体制強化による自治会長、民生委員、地域住民が連携した福祉活動の充実	拡充 福祉委員、自治会長、民生児童委員による意見交換会の実施連携を深め活動用にユニホームを作成。
主な補助対象経費	プロジェクター、ワイヤレスアンプ・マイク、スクリーン、ノートパソコン、プリンタ、デジタルカメラ、サロン用品（スカットボール、ニチレクボール、輪投げ、ラダーゲッター）、消耗品、ユニホーム（60）

## 生活・介護支援サポーター修了者 アンケート結果



以下、「活動している」と回答した100人が複数回答

